

生誕 100 年記念展 歌びと・吉野秀雄

同時開催 高崎市タワー美術館 収蔵日本画展

会 期 2002 年 12 月 3 日(火)～2003 年 1 月 13 日(月・祝)

歌人・吉野秀雄（1902～1967）は、群馬県・高崎の織物問屋の家庭に生まれました。青春時代から文学を愛した吉野は慶応義塾大学に進みますが、病のために中途退学し、本格的に短歌への道を歩みはじめます。療養を続ける一方、歌人の会津八一を師と仰ぎ、良寛へも傾倒を深めていきました。四人の子を遺して亡くなった妻・はつ子を詠んだ「短歌百余章」（1946）によって、歌人としての地位を確立。生涯を通して結社や流派に属さず、独自の歌風を築きました。この展覧会では、吉野の生誕 100 年を記念して、歌稿、遺愛品など 11,000 点の資料のなかから、未発表を含む貴重な資料約 280 点を展示し、生涯やその業績を紹介します。また、本展覧会にあわせ、3 階展示室では高崎市タワー美術館の収蔵日本画展を同時開催します。

会 場 高崎市タワー美術館（370-0841 高崎市栄町 3-23 電話 027-330-3773）

時 間 午前 10 時～午後 6 時（入館は午後 5 時 30 分まで）

金曜日のみ午前 10 時～午後 8 時（入館は午後 7 時 30 分まで）

休 館 日 毎週月曜日（祝日開館・翌日休館）、年末年始（12/28～1/4）

会期中の休館日：12/9・16・24、12/28～1/4、1/6

観 覧 料 一般：500 円（400 円）、高校生以下無料

- ()内は 20 名以上の団体割引料金
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方 1 名、65 歳以上の方、高校生以下は無料となります

主 催 高崎市・吉野秀雄生誕 100 年記念事業実行委員会・県立神奈川近代文学館・財団法人神奈川文学振興会

後 援 群馬県、富岡市、群馬県教育委員会、高崎市教育委員会、朝日新聞前橋支局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK 前橋放送局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎